

クリニックレポート

Push Up : 気象病

6月に入りました。今年も梅雨の時期がやってきました。しばらく続くじめじめしたこの期間は、気分が憂うつになる方やイライラしてしまう方が増えるようです。

また、気分だけでなく、関節痛や頭痛などの症状が悪化する方もいらっしゃいますが、皆さまはいかがでしょうか？ 雨の日（天気の良いとき）だけに限って…という方は、「気象病」かもしれません。

気象病とは

症状の変化が気象によって影響を受けると考えられている病気の総称を言います。(大辞林 第三版)

そのなかでも、とくに痛みや気分障害を伴うものを「天気痛」と佐藤氏※1により名づけられています。

佐藤氏は、「天気痛は自律神経と密接な関係にあり、気象条件（気圧・気温・湿度の変化、降雨、雷、風）の中で大きく影響しているのは、気圧と考えられる」と述べています。

(へるすあっぷ 21 2017.6 参照、※1 佐藤純 愛知医科大学 医学部 客員教授)

気象病の症状

頭痛、めまい、うつ症状、イライラ感、喘息、神経痛、倦怠感など

気象病の対策

- 自律神経（交感神経・副交感神経）を整える
↳ 朝食、入浴、良質な睡眠、ストレッチなど
- 酔い止め薬
↳ めまいや片頭痛の予防なることもあります
- 首の後や額を冷やす
↳ 片頭痛に効果がある場合もあります

(NIKKEISTYLE 天気の変化で感じる気象病対象者は 引用

船久保恵美 慶應義塾大学医学部神経内科非常勤講師)

症状のある方は、かかりつけ医などで必ずご相談ください。

気象病の専門外来にご受診を希望される方も、かかりつけ医にご相談ください。



気象病外来・天気痛外来

(愛知医科大学病院 痛みセンター内)

佐藤 純医師

初診外来のご予約の際は、必ず「かかりつけ医」からの紹介状が必要になります。

<http://www.tenkitsu-dr.com/>より

～医療法人尚豊会 みたき総合病院のお知らせ～

新外来棟が完成しました。現在までの診療科に加え、4月9日より歯科・口腔外科外来が始まりました。また、腎臓内科外来、糖尿病・内分泌外来、脳神経・認知症外来、乳腺外来の専門外来（専門外来は予約制：0120-930-697）も開設されています。

【みたき総合病院に関するお問合せ】医療法人尚豊会 みたき総合病院 059-330-6000

